

学生、教職員の皆様へ

2023年9月20日

愛知東邦大学

学長 鵜飼 裕之

生成AIの利用について

生成AIは、その基盤技術である大規模言語モデルの発展に伴ない、昨今、その利便性から急速に普及が進み、様々な場面で活用されるようになってきました。

こうした傾向は様々な課題を包含しながらも、さらに加速し、今後、様々な社会活動においてますます活用が進んでいくものと考えられます。

しかし、一方、生成AIを活用する際には注意しなければならない点が多くあります。

例えば、個人情報や秘密情報が入力するデータに含まれるリスク、他人の著作物の取り扱い、生成AIによって生み出された結果の権利などです。

愛知東邦大学では学生の皆さんと教職員が大学での学び、研究活動、業務においてOpenAI社のChatGPTなどの生成AIを利用する際に、注意すべき事項を解説した暫定的なガイドラインを整えました。

生成AIは、学修、研究、業務効率の改善や新しいアイデアの創出などに役立つ反面、入力するデータの内容や生成物の利用方法によっては法令に違反したり、他者の権利を侵害したりする可能性があります。

ガイドラインをよく読んでいただき、生成AIを上手に利用してください。

また、以下の3点については特に注意していただきたい項目となりますので必ず確認をしてください。

[注意事項]

- ・ 技術の進展や指針等の運用状況などに応じ、対応やガイドラインは適宜見直されます。
- ・ 使用にあたり、特に機密情報や個人情報等が意図せず流出・漏洩する可能性があることを認識してください。
- ・ 授業、研究領域、入学試験での使用に関しての細かな指針は、適宜改めて通知します。

以上